

3月刊

基本講義 債権各論

I 契約法・事務管理・不当利得 **第4版補訂版**

II 不法行為法 **第4版補訂版**

潮見佳男著・長野史寛補訂

I：A5・432頁・定価3465円／II：A5・288頁・定価2805円

斯学の基本書として圧倒的支持を得ている書を、京都大学 長野史寛教授が補訂。第I巻では、無催告解除・明渡擬制条項と消費者契約法10条、公社住宅の賃料への借地借家法32条1項の適用等、第II巻では、過失の前提としての結果回避可能性、2017年改正前の除斥期間の扱いに関する判例法理の変更といった、第4版刊行後に出された新判例を収載した。2色刷。

グラフィック 憲法入門 **第3版**

毛利 透著 A5・272頁・定価2530円

憲法研究の第一人者による好評入門テキストの最新版。第2版刊行後の重要判例に対応して多くの箇所解説を更新・拡充するとともに、近年重要な憲法訴訟が増加している婚姻や家族に関する規定については章を新設して取り上げ、憲法の現在の姿を分かりやすく示した。2色刷。

法学叢書 行政法I 行政法総論

興津征雄著 A5・864頁・定価5280円／【電子版】859頁・定価5280円

行政法が「わかる」とはどういうことなのか。概念の定義や論理のステップについて紙幅を費やして丁寧に説き明かした画期的基本書。行政法を学び始めた読者が司法試験の論文式問題に対応できるレベルまで到達できることを目指し、予備試験・司法試験問題と解説との対応も明記した。

家族法 **第6版**

二宮周平著 A5・536頁・定価3850円

第5版刊行後の重要な2つの法改正、親子法制の改正（2022年12月）と別居・離婚に伴う子の養育に関する法制の改正（2024年5月）に対応し、またセクシュアルマイノリティの権利保障についてもふれた新版。家族法全体について関連する最新判例の紹介も行った。

刑法各論

小林憲太郎著 A5・496頁・定価3630円

刑法各論の最新入門テキスト。法科大学院や法曹コースの出現によって法学教育の内容が統一化されてきたことに鑑み、特定の学説に依拠せず、普遍的で分かりやすい内容となるように心掛けた。初学者から予備試験・司法試験受験生、実務家まで、幅広い読者に好適の書。